

配合飼料価格安定制度の運用改善について

配合飼料価格安定制度関係

- 今般の配合飼料価格高騰に伴い、令和2年度第4四半期から令和5年度第3四半期まで(約3年間)配合飼料価格安定制度による補填が発動。総額5,700億円を超える補填金を生産者に対して交付してきたが、価格高騰が急激かつ長期間にわたったため、民間負担分の補填財源が払底。
- このため、市中銀行等から総額約1,200億円を超える借入れ等を行い、補填財源を確保。この借入金等は令和13年度までの10年にわたって返済予定。
- このように、本制度は巨額の財源負担を要する場合がある仕組みであり、その持続可能性に懸念。

○ 現状のデータ等 (令和6年10月時点)

令和2年度第4四半期以降における本制度等による補填総額と民間・国別の負担額

補填の種類	民間負担額	国費負担額	計
通常・異常補填	3,139億円	993億円	4,132億円
緊急補填	441億円	294億円	734億円
特別対策	-	854億円	854億円
計	3,580億円	2,141億円	5,721億円

基金の借入額等と返済期間

	通常補填	異常補填	緊急補填	総額
借入額等	428億円	674億円	141億円	1,242億円
返済期間	5年間 (R5~R10年度)	10年間 (R4~R13年度)	5年間 (R6~R11年度)	-

○ 今般の対応に対する主な意見

【生産者・生産者団体】

- より補填が出るような仕組みとなる制度にしてほしい。
- 廃業する生産者の分まで、継続する者が借入金を返済していくことになり、今後の経営に大きな負の影響。

【飼料メーカー】

- 財源が枯渇した時に借金をしてまで補填するのではなく、財源の範囲内で補填するような仕組みにしてほしい。
- 持続可能な制度となるような抜本的な改革に向けて、まずは意見交換会という形で早急に検討してほしい。

【参考】これまでの取組

- ・ 本制度の異常補填基金への累次の積増しや飼料価格の高止まり時でも補填が出やすくなる仕組み(新たな特例)を令和5年度第1四半期から創設するとともに、制度とは別に全額国費で補填する特別対策を2四半期にわたって実施。
- ・ これらの対策のため、補正予算に加え、1年間で3度の予備費を使用する異例の対応により、国費で総額2,000億円を超える予算を措置し、畜産経営の激変緩和を図ってきた。

検討会構成員

全農系

(一社)全国配合飼料供給安定基金(全農基金)

全国農業協同組合連合会

専門農協系

(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金(畜産基金)

全国酪農業協同組合連合会

日本養鶏農業協同組合連合会

全国畜産農業協同組合連合会

全国開拓農業協同組合連合会

商系

(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金(商系基金)

(協同)日本飼料工業会

(公社)配合飼料供給安定機構

農林水産省畜産局飼料課

これまでの開催実績等

第1回:令和6年2月 制度をめぐる情勢

第2回:令和6年3月 生産者団体ヒアリング

(全国農業協同組合中央会、中央畜産会、中央酪農会議、
全国肉牛事業協同組合、日本養豚協会、
日本養豚事業協同組合、日本養鶏協会、日本食鳥協会)

第3回:令和6年3月 基金団体ヒアリング

第4回:令和6年4月 集中的に方向性を検討する
論点の整理

第5回:令和6年6月 事務局案の説明

第6回:令和6年8月 事務局案に対する意見聴取

第7回:令和6年10月 中間的総括

〈課題〉 基金の民間財源が不足した場合、補填金を交付するためには借入れが不可避

〈運用改善の方向〉 各基金が足並みを揃えて補填を行うことを基本とし、基金の財源を枯渇しづらくした上で、それでもなお財源が不足する場合などに、借入れをせずとも補填金を交付できるようにする

現状の問題点

【通常補填】

補填財源の保有目安は、積立金1年分
⇒ 令和3年以降の補填額を踏まえると不十分

【異常補填】

- ・ 国が措置した額と同額を民間が積み立てないと補填金を交付できない
- ・ 各基金が状況に応じて個別に補填単価や借入れの是非を決定できない

⇒ 国費に対して民間負担分の財源が不足する場合、補填金を支払うためには借入れが必須

運用改善後

【通常補填】

- ・ 令和3年時点の保有水準及びそれ以降の補填額も踏まえた保有水準の引上げ

⇒ 財源が枯渇しづらくなり、借入れを抑制

※ その他、生産者に悪影響を及ぼさない範囲での最小補填単価の引上げ等を実施

【異常補填】

- ・ 国と民間の負担割合(1:1)は維持した上で、基本的には各基金が足並みを揃え同一単価で補填
- ・ 財源が不足する場合などには、各基金が補填単価や借入れ等の是非を個別に判断することを可能に

⇒ 借入れをせずとも補填金の交付が可能